

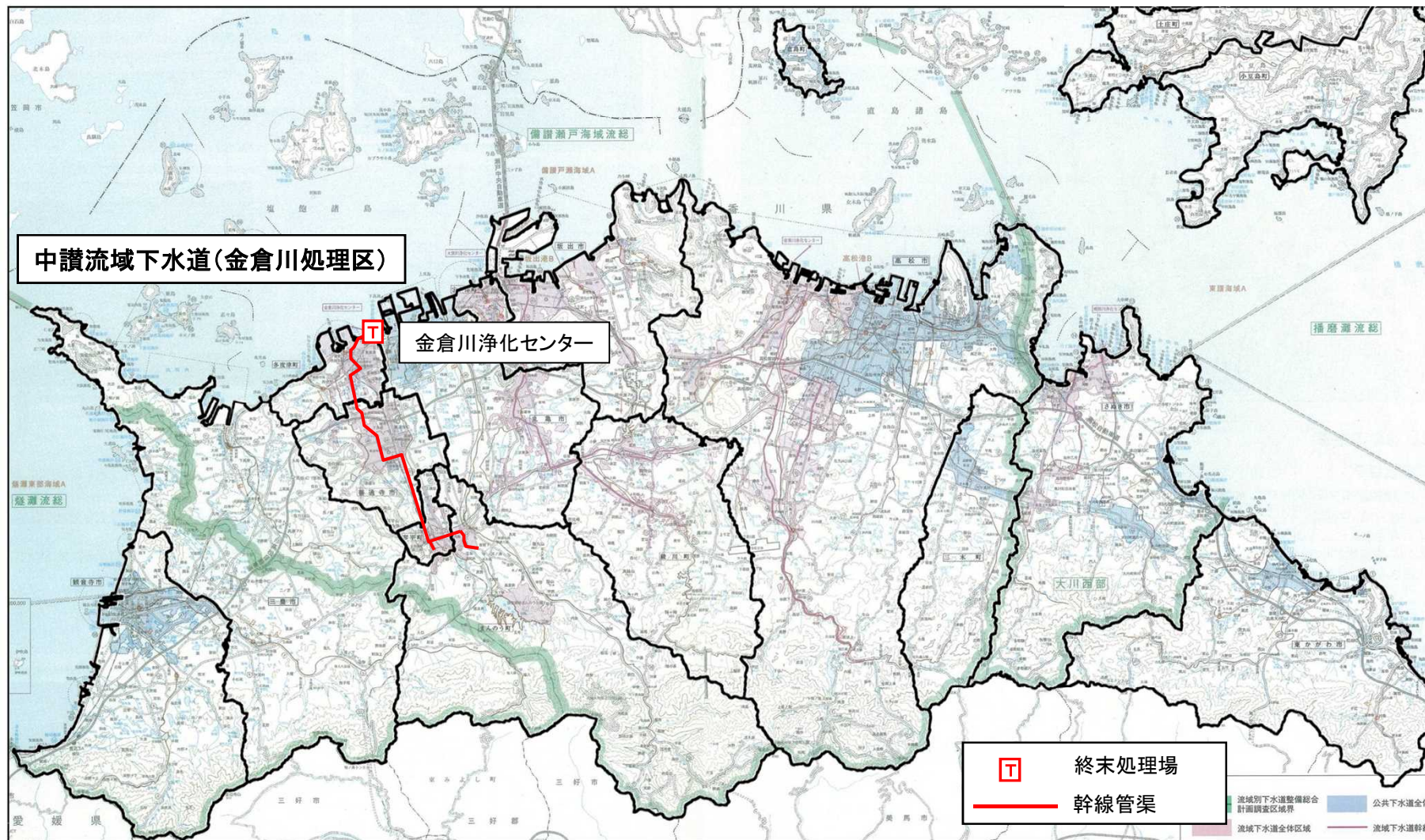
再 評 価 対 象 事 業

社会資本整備総合交付金事業

中讃流域下水道(金倉川処理区)

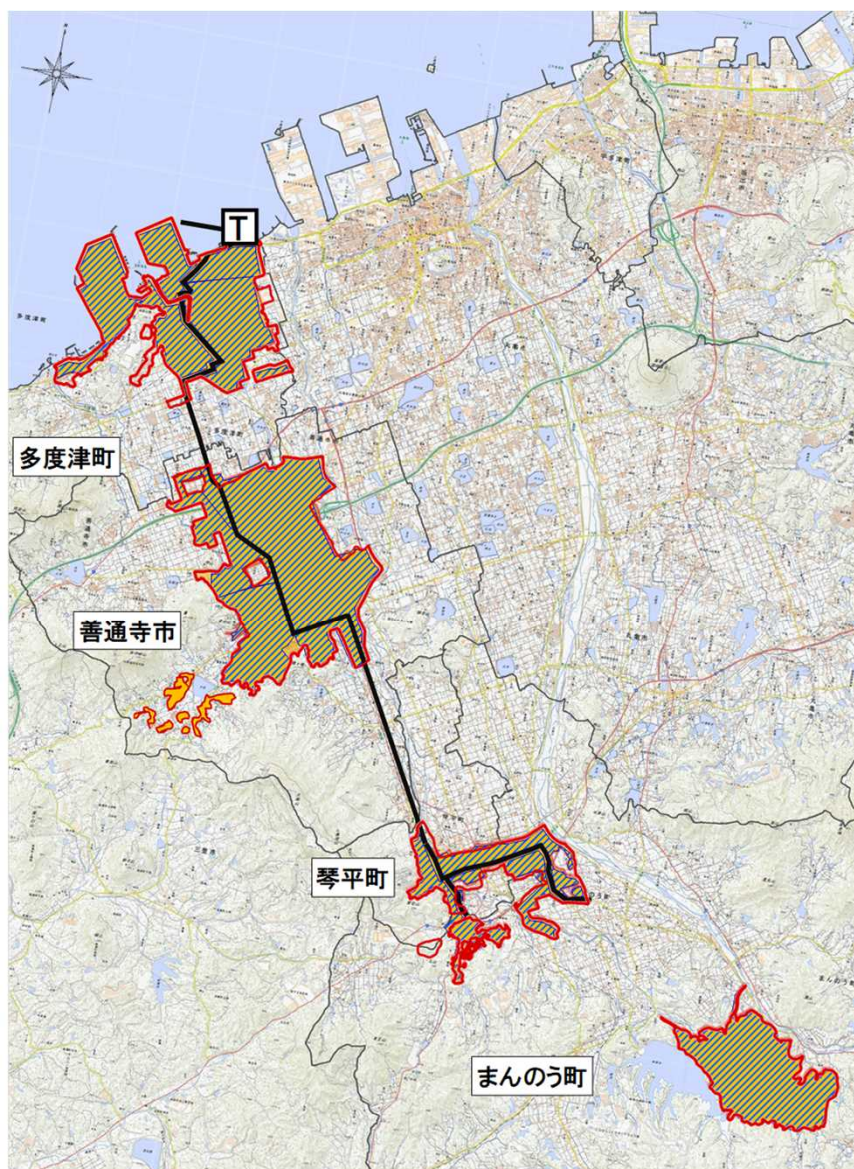
土 木 部 下 水 道 課

1. 事業概要(位置図)



測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1400
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない

2. 事業概要(金倉川処理区平面図)



整備状況(管渠)

○中讃流域下水道(金倉川処理区)は、昭和58年度(1983年)に事業着手し、平成2年度(1990年)から供用を開始している。

○幹線管渠は、平成6年度(1994年)に全延長19.5kmが完成している。

進捗率(令和3年度末)

○事業計画に対する面整備率
94.3% 2,114.5/2,241.8ha

○全体計画に対する面整備率
93.8% 2,114.5/2,253.4ha

全体計画区域	2,253.4 ha	
事業計画区域	2,241.8 ha	
整備済区域	2,114.5 ha	
将来整備区域	127.3 ha	

(整備状況(令和3年度末))

市町名	整備済面積	処理人口	面整備率 (整備済面積/ 事業計画区域面積)	処理水量 (日平均)	備考
普通寺市	801.4 ha	18,224 人	90.8 %	5,012 m ³ /日	
多度津町	627.5 ha	13,336 人	93.1 %	4,609 m ³ /日	
琴平町	145.8 ha	4,025 人	100.0 %	1,654 m ³ /日	
まんのう町	491.8 ha	2,250 人	100.0 %	980 m ³ /日	(旧満濃町)
	48.0 ha	436 人	100.0 %		(旧仲南町)
合計	2,114.5 ha	38,271 人	94.3 %	12,255 m ³ /日	

測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1400
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない

3. 事業概要(金倉川浄化センター平面図)



整備状況(終末処理場)

終末処理場は、現在5池が整備済みで、現有処理能力は20,000m³/日である。

(金倉川浄化センター概要)

区分	全体計画(R17)	事業計画(R6)
処理能力	28,400m ³ /日	28,400m ³ /日
系列数	7/7	7/7
処理場面積	11.1 ha	11.1 ha
事業費	-	293億円
現有施設	20,000m ³ /日(5/7系列)	

全体計画	
事業計画	
現有施設	
将来施工施設	

4. 対応方針(案)

金倉川浄化センター全景



最初沈澱池



反応槽



汚泥脱水施設



<事業の必要性>

流域下水道事業は、2市町以上が整備する流域関連公共下水道からの汚水を受け入れて処理しており、広域的かつ効率的な下水の排除、処理を目的とした事業である。(公共用水域の水質保全を目的とした極めて公共性の高い重要な事業)

- 持続的発展が可能な社会の構築に貢献することが下水道の使命である
- 施設の老朽化や耐震化への対応を図ることで強靱な社会の構築に貢献
- 人口減少等社会情勢の変化や地域の実情に柔軟に対応した計画的整備

➡ 今後とも継続的に施設の維持・整備を図る必要がある

対応方針(案)「継続」